

この授業は終了しました。

授業資料ナビゲータ(PathFinder)

教養展開科目(国際性を高める)

平成26年度(2014) 授業コード:G15N48501

## グローバル・スタディ・プログラム5

前期集中 五十嵐洋己先生

キーワード: 移民 移動 グローバル化 多文化主義 トランスナショナリズム 人身売買  
高等教育の国際化 ライフスタイル移民 エスニシティ Migration Mobility Globalization  
Multiculturalism Transnationalism human trafficking Internationalization of higher education  
Lifestyle migration ethnicity

←実際に利用した資料にはチェックをしましょう。

★のついている図書は、授業開始から1年間は本館N棟2階授業資料ナビコーナーに配架します。

**図書** 本には、テーマに関する内容がまとめられています。授業のテーマをつかむにはまずはここから始めましょう。

- Migration and integration – Japan in comparative perspective / Gabriele Vogt and Glenda S. Roberts (editors) Iudicium 2011 Japan und Europa : historische Beziehungen und vergleichende Studien = Japan and Europe : historical relations and comparative studies  
→ 日本の移民政策のフレームワークと課題点についてドイツ、フランス、カナダとの比較の視点から分析した良書。  
★【本館K棟3階A 334.4/MIG】
- Multiculturalism in the new Japan : crossing the boundaries within / edited by Nelson H.H. Graburn, John Ertl, R. Kenji Tierney Berghahn Books 2008 Asian anthropologies:v. 6  
→ 日本における多文化主義と国際化の形態と問題点について議論をした本。日本に住む移民の経験と、移民を受け入れる日本人コミュニティの双方に焦点を当てている。  
★【本館K棟3階A 361.5/MUL】
- The transnational studies reader : intersections and innovations / Sanjeev Khagram and Peggy Levitt, editors Routledge 2008  
→ 近年、トランスナショナリズムが社会科学の領域で新しい分析概念として登場している。この本は、その重要な概念を様々な分野—歴史学、政治学、経済学、社会学、文化人類学、カルチュラル・スタディーからの代表作を紹介している。トランスナショナリズムを理解する上での良書。  
★【本館N棟2階ブックツリー授業資料ナビ 361.5/TRA】
- ネオ・リベラリズムの時代の多文化主義 : オーストラリアン・マルチカルチュラリズムの変容 / 塩原良和 著 三元社 2005  
→ オーストラリアの事例をもとに、どのように多文化主義とネオリベラリズムが結託するのかを明らかにした良書。  
★【本館K棟3階A 316.871/NEO】
- Human trafficking : a global perspective / Louise Shelley Cambridge University Press 2010  
→ 歴史的そして比較的視点から、世界中で起こっている人身売買の様々な形態を明らかにした本。  
★【本館K棟3階A 368.4/HUM】
- Student mobilities, migration and the internationalization of higher education / Rachel Brooks, Johanna Waters Palgrave macmillan 2011  
→ 高等教育の国際化と学生の国境を越えた移動について議論をした良書。  
★【本館K棟3階A 377.6/STU】
- The ethnicity reader : nationalism, multiculturalism and migration / edited by Montserrat Guibernau and John Rex 2nd ed Polity 2010  
→ 社会学、政治学、国際関係論、人種関係論の領域の研究者・学生がエスニシティについての理論的概要を理解するのに役立つ良書。  
★【本館N棟2階ブックツリー授業資料ナビ 316.8/ETH】
- Mobilities / John Urry Polity 2007  
→ 「場所」ではなく、「移動」を中心に日常を分析すると社会はどのように見えるのか… イギリスの社会学者ジョン・アリーの代表作。  
★【本館K棟3階A 361.5/MOB】
- Understanding lifestyle migration : theoretical approaches to migration and the quest for a better way of life / edited by Michaela Benson and Nick Osbaldiston Palgrave Macmillan 2014 Migration, diasporas and citizenship  
→ 先進国の富裕層で生まれてきた新しい移民形態である「ライフスタイル移民」に関する理論を網羅した良書。ヨーロッパ・北米からの理論は日本でも多様化するライフスタイルに基づく移住の現象にも示唆を与えてくれる。  
★【本館K棟3階A 334.4/UND】
- グローバリゼーション : 人間への影響 / ジグムント・バウマン著 ; 澤田眞治, 中井愛子訳 法政大学出版局 2010 サピエンティア:15  
→ ヒト、モノ、カネ、情報の移動が頻繁になるグローバリゼーションの時代、私たちの生活はどのように変容して行くのか。ポーランド出身の世界を代表する社会学者が「移動」をキーワードに、世界が再階層化・二分化する様相を描く。  
★【本館K棟3階A 319/GUR】

- 移動から場所を問う：現代移民研究の課題 / 伊豫谷登士翁編 有信堂高文社 2007  
→「移動から場所を問う」をテーマに、海外の移民研究者の論考を集めた良書。移動・移住とは何か、という移民研究における根本的な課題に挑む。

★【本館K棟3階A 334.4/IDO】

**参考図書(辞書・事典等)** 初めてのテーマは、百科事典や主題別の事典などでおおよその内容をつかみましょう。

- 人の移動事典：日本からアジアへ・アジアから日本へ / 吉原和男編者代表；蘭信三 [ほか] 編 丸善出版 2013  
→ アジア太平洋地域の域内および域外から、日本およびアジアへの移民・移住など人の国際移動についての学際的な視点から論じる事典。

【本館K棟3階A 334.4/HIT】

---

授業資料ナビゲータ(PathFinder)入口 (<http://alc.chiba-u.jp/pathfinder/>)  
作成：千葉大学附属図書館